

■ 使用機材



- ・ 音調式漏水調査機器（音を拾う機械）
- ・ ガストレーサー式検知器（ガスで漏水箇所を探す機械）
- ・ 穿孔用ドリル・タタキ棒

■ 調査の流れ

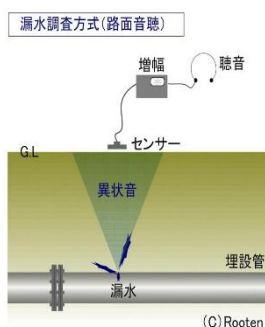
① 現場確認（事前調査）

- ・ 建物内外の水回りの位置を確認
- ・ 図面がある場合は配管ルートと照合
- ・ ガストレーサー調査が可能か事前判断

👉 現地状況に応じ最適な調査方法を選定

※条件によってはガス調査を行うための簡易工事を提案する場合あり

② 音調調査（一次調査）    👉 音で漏水箇所の目星をつける工程



- ・ 外回りの水栓をすべて確認
- ・ 建物内の水栓も順番に確認
- ・ 漏水音の有無・強弱をチェック

③ ピンポイント確認 📍 範囲を一気に絞る重要工程

- 音が強い場所周辺を重点確認
- 外部はドリルやタタキ棒で穴あけ
- 地中の音を直接確認

④ ガストレーサー式調査（精密調査） 📍 目に見えない漏水も特定可能



※音調で断定できない場合に実施

- 水栓や配管から専用ガスを注入
- 地表からガスの反応を測定
- 反応が出た地点を中心に調査

⑤ 最終特定 📍 修理可能な位置まで確定

- 穴あけ＋音調＋ガス反応で最終確認
- 漏水箇所を半径約 1m 以内まで断定

■ 調査のポイント

✓ 状況に応じて調査方法を切り替え

- 音調でいける場合 → 音調優先
- 難しい場合 → ガス調査

✓ 精度の高い調査 📍 修理できるレベルまで特定

- 単純に探すだけではなく

✓ 複数漏水にも対応

- 漏水箇所は 1 ヶ所とは限りません
- 必要に応じて追加調査

★本調査により、無駄な掘削を減らし、最短で修理に移行することが可能になります